

スマートフォンで動画づくり① — 企画・構成編 —

ナビゲーター＝トランティ美佳さん
(コスタリカ・映像・2018年度1次隊)

企画・構成の3つのポイント

写真や動画を撮影するのに便利なスマートフォン（スマホ）。そのスマホで短い動画をつくるためのプチテクを、3つのテーマに分けて3回連続でご紹介します。ちょっとしたコツを抑えて、発表のツールとして使ってみてください。今回は1回目です。

動画をつくるときに一番大切なのが「企画・構成」。どんなテーマで誰に見てほしい動画なのか、そのために何を撮る必要があるのかを考えます。やり方は人それぞれ違いますが、私が意識している3つのポイントをご紹介します。今回は「配属1年後に行われる中間報告を映像で行うとしたら」という設定の具体例も紹介します。



例：中間報告の場合

01

01 「誰に見せる動画」かを定める

動画をつくるにあたって、まず行うのが「誰に見せる動画なのか」を考えることです。これは、「どんな内容にするか」「必要な情報は何か」など、動画の方向性を絞るために大切な作業です。ポイントは、「職場のみんな」や「JICA海外協力隊」などのグループではなく、「両親」や「同僚の田村さん」というように具体的な誰か1人を思い浮かべること。そうすることで、その人に伝わるかどうかを基準に動画づくりを進められます。合わせて使いたい音楽も決めておくと、撮影や編集のときの助けになります。

02

ゴール：これからの目標を伝え協力を得る

テーマ①：これまでの活動を紹介

小学校での *タジュール実施	300人の 子どもが対象	先生からも 評判が高い
-------------------	-----------------	----------------

*タジュール…セミナー

テーマ②：苦労したこと

子どもの人数が 多く1人では 対応できない	スペイン語で コミュニケーション が取れない	ドクキャンが とても多い
-----------------------------	------------------------------	-----------------

03

テーマ①：これまでの活動を紹介

小学校での タジュール実施 教室全体	300人の 子どもが対象 子どもいっぱい	先生からも 評判が高い 先生と握手
---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

テーマ②：苦労したこと

子どもの人数が 多く1人では 対応できない 大勢の子どもと私	スペイン語で コミュニケーション が取れない 質問に 答えられない私	ドクキャンが とても多い 空っぽの教室
--	--	----------------------------------

02 ふせんで疑似動画をつくり、情報を整理

動画の内容を考えるため、動画を通して何が伝われば良いのか、ゴールを決めます。中間報告の場合であれば「これまでの実績と今後の計画」「苦労している課題」など、「01」で思い描いた人に何が伝われば動画をつくった目的が達成できるのかを考えてみてください。その上で、設定したゴールに到達するために必要な情報は何かを全てふせんに書き出します。ポイントは、ふせん1枚につき、書く情報は1つだけ。そうすることで、あとで内容を加えたり、削ったりするときに整理しやすくなります。

—やり方—

- ①動画で何を伝えるかのゴールを決める
 - ②ゴールに到達するために必要な情報を全てふせんに書き出す
 - 動画でメッセージを伝えるために必要なテーマを大きく3～4つ決める
 - テーマごとに細かい情報（基礎情報・実際に起こった出来事など）を全て書き出す
 - ③書いたふせんを大きな紙に全部貼る
 - ④動画で伝える順にふせんを並べ替え、情報を整理（この作業を納得がいくまで繰り返してみてください）
 - より伝わりやすいと思う順番に並べ替える
 - 必要ない情報＝ふせんは取り除く
- このように紙の上で疑似的に動画をつくり、頭の中を整理するのが、この作業の目的です。

03 撮影する映像をふせんに書き込む

「02」のふせんの余白に、撮影する映像を書き込みます。動画は映像でメッセージを伝える手段。字幕やナレーションではなく、映像を使って伝えられるよう撮影すべき映像を細かく想像してみましょう。また、過去の話は写真を使うなど、どんな映像を使うことでより効果的にメッセージを伝えられるかを考えてみてください。ここまでできたら、撮影前の準備完了！撮影編は次号にてご紹介します。



スマートフォンで動画づくり② — 撮影編 —

ナビゲーター = トランティ美佳さん
(コスタリカ・映像・2018年度1次隊)

撮影の5つのポイント

写真や動画を撮影するのに便利なスマートフォン（スマホ）。そのスマホで短い動画をつくるためのプチテクを、3つのテーマに分けて3回連続でご紹介します。ちょっとしたコツを抑えて、発表のツールとして使ってみてください。

動画づくりのポイント2回目は『撮影編』。スマホでの撮影を想定して、すぐに使えるプチテクをご紹介します。活動中に「いいシーンだなあ」と思う瞬間があれば、写真だけでなく、ぜひ動画でも記録してみてください。帰国後の活動紹介にきっと役立つと思います。

01 5秒は止まって撮る

撮影を始めると「あれも撮りたい!! これも撮りたい!!」と、カメラをあちこちに動かしてしまいがち。あとで映像を見てみると、結局大切な部分が撮れていないなんてことも。そこでポイント。

- ①録画開始ボタンを押したら5秒はカメラを動かさずに撮影
 - ②カメラを動かすときはゆっくり 動きを止めたら5秒は動かずに撮影
 - ③録画を停止する前に5秒間カメラを動かさずに撮影
- ちょっと意識するだけで、落ち着いた映像が撮れます。

02 ズームを多用しない

遠くのもの撮るときに便利なズーム機能。でも実は、画像が荒れたり、手ブレが目立ったりとデメリットも。そこでズームを使わずに撮るための2つのポイント。

- ①被写体にカメラを持った自分が近づく
- ②引き（被写体から離れた状態）で撮影

のちの編集作業で被写体を切り取って拡大

遠くのもの撮るときは、できるだけ被写体にカメラを近づけるのがベスト。でも、どうしても近づけない場合は、ズームを使わず、そのまま引きで撮影し、編集で切り取って拡大した方が、画像の劣化を抑えられます。

03 縦撮り？ 横撮り？

スマホ撮影で意識すると良いのが、スマホを縦にして撮影するか、横にして撮影するか。これはつくった映像を何を使って見るかによって変わります。

★縦撮り：スマホで見るための映像をつくるとき

★横撮り：パソコンやプロジェクターを使って見るための映像をつくるとき

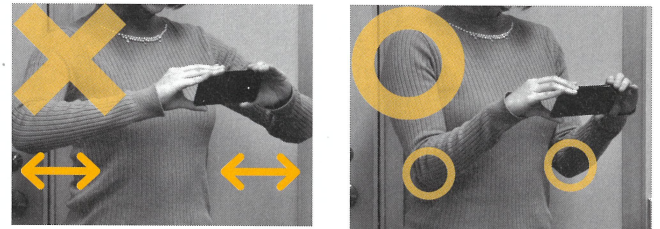
スマホを除くと、テレビやパソコンなど多くのスクリーンは横長です。そのため動画を撮影する場合、横向きで撮影した方が汎用性の高い映像になります。

04 脇シメで手ブレ防止

撮影のときに注意したいのが手ブレ。画面が揺れていると、せっかくの内容が頭に入ってきません。そこで、スマホ撮影での手ブレ解消ポイント。

- ①スマホは両手で持つ
- ②脇をシメる

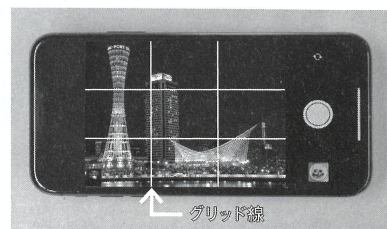
この2つを意識するだけでも、手ブレを防ぐことができます。



05 傾き大敵！ 水平を意識してまっすぐ撮る

被写体を撮影することに集中するあまり、画面全体が斜めに傾いていると見ていて落ち着かない映像になってしまいます。それを防ぐために、カメラは地面に対して平行に保つように意識してみてください。ポイントは2つ。

- ①背景に水平になるもの（天井・床など）を見つけ基準にする
- ②グリッド線機能を使ってスマホの角度を調整する



格子型に表示されているのがグリッド線。多くのスマホで表示できる機能がついています。

JICA海外協力队的プチテクガイド

簡単&便利！ 活動・生活のパワーアップに役立つ

第104回



スマートフォンで動画づくり③ — 編集編 —

ナビゲーター = トランティ美佳さん
(コスタリカ・映像・2018年度1次隊)

編集の3つのポイント

写真や動画を撮影するのに便利なスマートフォン（スマホ）。そのスマホで短い動画をつくるためのプチテクを、3つのテーマに分けて3回連続でご紹介します。ちょっとしたコツを抑えて、発表のツールとして使ってみてください。

動画づくりのポイント、最後は『編集編』。編集は人それぞれ、さまざまなやり方があります。旅行の記録、ドキュメンタリー、イベント報告など、つくる動画の目的や種類によっても、やり方は変わってきます。今回は、そのなかでもいろいろな映像編集の参考になるポイントをご紹介します。撮影した映像を編集し、動画が出来上がる瞬間は、とてもうれしいものです。ぜひご自身で編集をし、その瞬間を味わってみてください。



01 「ざっくり編集⇒通して見る」を繰り返す

動画の編集に正解はありません。そのため、編集作業はいくら時間をかけても終わらない……なんてコトも。そこで編集のプチテク。

① 編集前に大まかな流れを決める

『企画・構成編』でつくったふせんを参考にすると作りやすいです。

② 流れをもとにざっくり編集

細かいことや尺（時間）は気にせず、とにかく映像を流れに沿って並べてみる！

③ 編集した動画を全部通して見る

④ 1度目より細かく編集⇒通して見る⇒さらに細かく編集……

この作業を繰り返し、完成に近づけていく

一度最後まで映像が出来上がらないと、いいのか悪いか判断ができません。下書きの感覚で一度編集し、全体を通して見ることで新しいアイデアも生まれてきます。

02 映像の切り替えは ビートに乗って気持ちよく

見ていて気持ちの良い映像をつくるポイントのひとつが、映像と音楽の調和。映像を切り替えるタイミングや被写体の動きと音楽がマッチしていると、見ている人の気持ちをより惹きつけられる動画になります。ポイントは2つ。

① 映像を切り替えるタイミングは音楽のビートに合わせる

3拍子の音楽なら、1・2・3の3のタイミングで映像を切り替えると、より印象的になります。

② 映像に音楽の流れやストーリーを合わせる

子どもたちが元気よく走り回る映像に、音楽の一番の盛り上がりを合わせる……など映像の内容に合わせて、音楽を付けてみてください。2つの調和が、動画をより魅力的に仕上げてくれます。

03 アップ⇒ルーズ 色んな構図でメリハリを

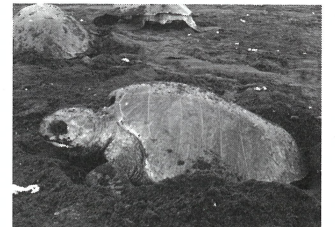
テンポの良い映像を編集するポイントを紹介。

- ① 寄り（アップ）と引き（ルーズ）の構図をバランスよく織り交ぜる
- ② 漫画を参考に編集してみる
- ③ 『次に何を見たいか』を考えながら編集する

同じ構図の映像が続くと、テンポが悪くなり、どうしても飽きてしまいます。ぜひ色んな構図を織り交ぜて編集するよう意識してみてください。ここで参考になるのが、漫画。漫画は、被写体から離れた構図（ルーズ引き）と被写体に寄っている構図（アップ・寄り）がバランス良く並んでいるので、状況を把握したり、主人公の感情を見せたり、映像編集の基本を学ぶのにとっても参考になります。またテンポの良い映像をつくるために、撮影するときも、色んな構図で撮影するように意識してみてください。



被写体から離れているカット（引き）



被写体に寄っているカット（寄り）

スマホで使える無料編集アプリ

InShot…著作権フリーの音楽も豊富で、簡単な映像編集にオススメ。
キネマスター…さまざまなエフェクトが使える、0.1秒後ごとの映像編集が可能。細部にもこだわった編集をしたいときにオススメ。

※著作権・肖像権について…文章、画像や映像、イラスト、デザイン、音楽などには著作権；また写真や映像、絵画などには肖像権などが存在します。このような権利について適切な処理を行わずに使用してしまった場合、知らない間に他人の権利を侵害してしまう恐れがあり、損害賠償を請求されることもあります。JICA海外協力隊ハンドブック「広報媒体掲載肖像ガイドライン」をよく読んだ上、自由な使用が認められていない素材を使うときは、必ず権利者に許可を取り、迷った場合は各在外事務所にご相談したりするなど、取り扱いには十分注意しましょう。